

水溶性珪素 umo シンポジウム講演会

平成 27 年 2 月 22 日(日)。

福岡県の港側に福岡国際会議場がありました。この日は足元悪い雨の中でしたが、国際会議場は多種多様なイベントが行われており、とても賑やかな会場となっていました。

その中の一画に多目的ホールはあり、中へ入ると長机と椅子が綺麗に並び300名以上の受講者でいっぱい。

早くも講演の期待が膨らみます。

開演13時、いよいよです。



主催・協賛挨拶 岡田 憲己 氏
(株)APA コーポレーション代表取締役
日本珪素医療研究会 事務局
水溶性珪素 umo 原料メーカー

スライドショーを使用した、分かりやすい形で始まった岡田氏の挨拶。健康や美容、海外での展示会の様子から始まり、水溶性珪素 umo の応用として、食品・健康食品・美容・農業・水産・畜産などで広く活用されている事を解説。

他にも、書籍の案内や日本珪素医科学学会・中国珪素医科学学会・日本珪素医療研究会・水溶性珪素 umo の研究提携先に至るまで、詳しく紹介。岐阜大学や麻布大学、愛知医科大学などでも研究をされている様子まで伺え、水溶性珪素 umo の誕生から、どういった物や場所などで活用されているのか。曖昧になりがちな珪素に関する事がわかやりやすく解説されていました。



主催・協賛挨拶 村田 智寛 氏
(株)リンクス 代表取締役
日本珪素医科学 学会 幹事長

健康業界に携わり30年。珪素に出会ったのは10年前。当初、珪素に関する知識は皆無。勿論、最初は全然売れるわけもなく、地道にここまでやってきたが、それでも一度たりとも珪素を止めようと思った事はなかったそうです。お話の中で珪素に関係する体験談2件をご紹介します。

まずは、ご自身のお母様の体験談。今年83歳、重度の糖尿病で、痩せて90歳位にしか見えなかったが、珪素を摂っている内に、53歳の村田社長と一緒に居ると夫婦に間違われる事もある程、元気に若々しく回復したそうです。

続いて、社員の方の体験談で、生まれて10日目にアトピーと診断され、夏でも長袖を着用しなくてはいけないほど酷く、いじめられる事もあった。そんな時に出会ったのが珪素。飲みだして2週間でほぼ完治。この話、本当に信じてもらいづらいけど実話だそうです。

今ではアトピーとは分からないくらい。まずは是非試してみてください。とても気持ちのこもった熱いお話を聞かせていただきました。



講演者登壇

「先生方が考える水溶性珪素 umo の将来性について」

写真:左) 菅野光男 右) 樋口真弘・細井睦敬・金子昭伯

壇上横に講師席があり、そこから金子昭伯氏・細井睦敬氏・樋口真弘氏と続いて登壇。菅野光男氏は脚が悪いので講師席よりご挨拶しておられました。

金子氏挨拶

「私の事をご存じの方もこの会場におられると思いますが…」と手を挙げた状態で会場を見渡すと、金子氏と面識のある方々(壇上の先生まで)挙手。会場から笑い声もこぼれておりました。

細井氏挨拶

「地元から来ました。ここは貝原益軒と云う江戸時代切っつての天才漢方医がいて、養生訓と云う素晴らしい本を書いており感動しました。現代の貝原益軒になりたいと思っているので、あだ名は現代の貝原益軒と覚えてください。それ位の気迫でいます。」と、さすがに先生ならではの。目標に定める人物像も歴史上の勉学者でした。

菅野氏挨拶

「舞鶴の港近くにキリスト教の教会があり、そこに3年間牧師をしていました。それから医者になりましたが、そんな縁もあり福岡は第2の故郷です。今日はよか日です！」と、福岡弁を交えたご挨拶でした。

樋口氏挨拶

「歯科医の分野でやっています。大阪・岸和田という所から来ました。だんじり祭りなどでご存じですかね。歯周外科を習うため約5年九州にずっと通っています。九州は関西と似てるなと思います。歯周外科をするにあたり、インプラントをめくったり、或いは造骨して再生医療と云う事を心掛けておりましたが、どうも珪素が効くのではないかと云うのを本当に最近思いました。益々、歯科医が患者さんにいい治療が出来るようになっていっている、宜しくお願い致します。」歯科医の分野から早速珪素の掴みを入れてお話しくださいました。



基調講演① 金子 昭伯 氏

「珪素の活用・珪素の革命」

日本珪素応用開発研究所 所長

水溶性珪素 umo の世界・日本の発掘者

肺ガンで余命3ヶ月と宣告。その後、ガン患者の会に所属し尽力を尽くしたが、やはり沢山の方が亡くなっていく事に疑問を持つ。その頃、水素水を知り広めてきた。ただ、本当に水素水だけで良いのか、再び壁にぶつかる。人は色々な物を食べて生きており、人間って栄養素で生かされてるんじゃないかと思った。その時、一番大事な働きをする栄養素って何だろう…と考えた。その時に珪素が出てきた。日本では最近やっと栄養学が広まりつつあるが、ドイツでは20~30年前から西洋医学でも栄養学を取り入れていた。そんなドイツで今一珪素が売れている。

色々なホルモンを分泌する松果体も、殆ど珪素でできている。更に、様々な病気に起因する要素を持っている血管。発する病気は命を奪いかねないものばかり。そしてこの血管を構成している成分も珪素なのです。

血管が再生する期間は 1000 日。3年かかって新陳代謝を繰り返している。珪素を食べたらすぐに効くわけではない。でも今日より酷くはならない。

長年かけてできたガン細胞をすぐに消そうなんて難しい。ガン細胞をやっつけるのではなく、今日より大きくならなければ勝ちなんだと。

あと、私達は酸素に囲まれて生きている。酸素に囲まれていると云う事は酸化してボロボロになって死んでいく。酸化していくものを止められるものがある。それが珪素。

また、身体の中にはミトコンドリアと云う別の生き物(細胞)がいて、細胞の中でも考えるエネルギーや動くエネルギーなど重要な働きをする細胞で、このミトコンドリアも殆ど珪素でできているため、珪素を摂る事で活性化する可能性もある。珪素を飲んで感じるものがあれば諦めずに使ってください。身体に悪いものはありません！

umo の生みの親は、ご自身の経験から様々な用途を見出し、それを必要な人に届けと献身的な気持ちで取り組んでいる様子が伺えました。



基調講演② 医師 細井 睦敬 氏
 「再生医療を変革する珪素の力」
 クリニック細井皮膚科 院長
 日本珪素医療研究会 会長

ミトコンドリア…普段健康であれば小腸から邪魔なものは吸収しない。ところがミトコンドリアの働きが悪いと、小腸にパイエル板というのがあって、普段大した事のない細菌でも、それが体の中に入ってしまうと、白血球がトラップして全身に回ってば撒いてしまう。そして細胞に入ってしまうとミトコンドリアのエネルギーを奪ってしまう。神経細胞や筋肉細胞がダウンしていく事により、筋肉痛とか調子が悪くなってくる。それを防ぐには、小腸のコンディションを整える必要がある。

有核赤血球…カンジダ菌が入ると、マイコトキシンという毒素を出し、菌の中のアフラトキシンが出る。するとガン抑制遺伝子p53と云うのを解除してしまい、その細胞が無限分裂する機会を得るという。つまりガン化してしまう。諸外国の先生達はガンのメカニズムは分からないと言っているが、私のアプローチからすると、先ず、ガン細胞は万能細胞にトラップされたカンジダ菌が、p53 抗体を傷つけて分裂してゴミ箱を増やしていくサイクル。ある意味では自分の身体の中のゴミをトラップすると

いう意味において、無限に増殖するデメリットを抱えるが、故にその臓器が破綻していく。最終的には死を招くと云う風に理解していく。ガンは抗がん剤で治すという時代は、もう遅れている。他に様々なアプローチがあり、もずく・珪素・温熱的・3~5位のライフメーターの超音波を当てる。実験で100%死にます。こういう方法で起死回生も十分有り得ると思う。

再生医療…人類 100 万年。はるか古代、ダメージを受けた時に医者という存在がなかったのに人類が存続しているという事は、自分でケアをする方法が必ずなければいけない。現人類は外から治療する過剰な時代だが、2000 年前ギリシャのヒポクラテスの話では、【人間の身体には、人間自身がお医者さん】と云う言葉がある。そういうものがなければ人類は滅びているだろうと。つまり、自己治癒力あるという事は再生能力があるという事。だから私は内的 iPS 細胞があるだろうと唱えている。

脂肪細胞…アディプロテクチンと云うスーパー善玉ホルモンが出るという事が証明されている。アディプロテクチンというのは時に終生若返りをベーシック的にコントロールする役割をもっている。日常的な生活の中で出すには、りんご・キュウイ・生姜・おくらなど色々あるが、食べ物からも摂れる。

とにかく多種多様な方面で話を進めていただき、書ききる事ができませんでした。ただ全てにおいて珪素が必要不可欠なんだと云う事が重々承知できる講演でした。詳しくは、細井先生の著書にてご覧ください。



基調講演③ 医師 菅野 光男 氏
 「難病を克服する珪素の力」
 伊豆東部総合病院
 日本珪素医科学学会 副会長

先ず、ガンの発生率を減らす方法は、主な食事を変えるだけでも劇的に変わります。五臓六腑の五臓＝心臓・肝臓・肺臓・脾臓・腎臓と細胞が固まって一つの臓という。六腑の腑は腸・膀胱・胆嚢など袋を指している。府に肉を付けると【腐る】と読むでしょ。肉を食べると発ガン性物質に変わるんです。それも足し算ではなく、掛け算の如く。ガン細胞が増え、肝臓に流れ、それは心臓を経由して肺が終着駅なんです。タバコも吸わないのに肺がんが増えている原因、小腸や大腸が腐って、どんどん発酵してるんです。ジューシーな肉のジューシーは血。でもヘモグロビン、鉄分じゃない！グロブリンと云って銅を食べてるんです。先ずは野菜や魚を中心とした食事に変えてください。

それと、ガンに勝つための秘訣は3つの条件を満たすだけで大体勝てます。第一番目の条件は「貧血」が無い。第二はリンパ球を顆粒球で割る「G/L 比」。G=グラニューと云うのは顆粒球の事。L=リンパ球の事。これが2以下であれば大丈夫。例えば、リンパ球は大体 30%位血液の

中に、顆粒球というのは大体 60%位、 $60 \div 30 = 2$ でしょ。これが一番理想です。第3は「腫瘍マーカー」が正常になる事。これはデータが証明しています！エビデンスベストメディション、証拠を持つ医学こそ本当の医学なんです。

珪素は三条件を活性化してガンに勝つ大きな力になります。

それともう一つは、人間は対極的に見ると、肉体的に又、精神的な生き物ですから心も明るく楽しく前向きに。人間の持っている大きな力は、食べ物と脳の働きです。良い言葉を使って脳を元気に、言霊って言うでしょ。(詳細は別途データにて)

心の持ちようでガンの生存率も変わります。絶望する人は絶望に絶望しなさい！ダメのダメはいいになる＝希望に変わるんです。人生はエントロフィーと言って下り坂は破滅の法則。エネルギーの法則。ところが逆エントロフィーというのがある。英語でネガティブエントロフィー。段々、低下するところを、支えて持ち上げてできるだけ平淡にしていける状態。これもダメのダメなんだよ。珪素はダメになっているところに「ダメっ！」と言って支えてくれる。珪素は否定の否定をしてくれるので希望(平淡)に変わる。

ハッピーの語源はハプニング、出会いなんです。皆さん umo に出会えて良かったですね。ハッピーに変えてください。

先生のお話の中の、食べ物と脳の働きとエネルギーの法則は次ページで資料画像を掲載していますので、是非ご参照ください。数々のデータを元に証明していただき、熱く前向きな講演をしてくださいました。

人生分け目の「カ・キ・ク・ケ・コ」!!		
	生き生き人生	ガンになる人生
カ	感動	カッコしやすい
キ	希望	気遣いが多い
ク	工夫	クヨクヨ
ケ	決断	ケンカ早い
コ	恋心 好奇心	コセコセ 根気なし
明るく!!楽しく!!前向き人生		

命光療法 (病は気からの編)	
人を生かし、免疫力を増強し、ガン・難病に 克つエネルギーです。善玉エネルギーです。	
命光「宇宙エネルギー」は 太陽のプリズムのように人 を活性化する7大エネルギ ーを照射しています	人を殺すエネルギー (邪気)
(善玉エネルギー)	(悪玉エネルギー)
1. 明るい	1. 恨む
2. 楽しい	2. つらむ
3. 温かい	3. ねたみ
4. 優しい	4. 憎しみ
5. 美しい	5. 苦しみ
6. 嬉しい	6. 悲しみ
7. 愛しい	7. 痛み

脳を活性化ホルモンと食物

脳活性化七福神経ホルモン

脳の			
健	脳 H	DHA・EPA	魚油 ⇒ 抗物忘れ、抗痴呆
幸	せ H	α波 βエンドルフィン	緑茶 ⇒ 抗イライラ カテキン・テアニン ⇒ 安心
愉	快 H	セロトニン	日本の味 ⇒ 抗うつ病 (かつお節・椎茸・昆布・いりこ・ナッツ・バナナ) 各頭文字で ! (か・し・こ・い・な)
快	感 H	ドーパミン	コーヒー・バナナ・ナッツ ⇒ 抗パーキンソン病
若	返り H	メラトニン (セロトニンから分泌)	豆類・ナッツ類・黄卵 ⇒ 抗不眠
気	楽 H	アセチルコリン	大豆レシチン・ローヤルゼリー ⇒ 抗アルツハイマー
安	心 H	ギャバ(γABA)	発芽玄米 ⇒ 抗不安
だ!! 脳の健康は愉快と若気で安心だ!!			

※菅野先生スライドショー抜粋



基調講演④ 歯科医師 樋口 真弘 氏

「未来を拓く珪素の力」

医療法人ヒグチ歯科医院 院長

日本珪素医科学学会 理事

昔の子供に比べ、現代の子供は顎の発達が悪い。虫歯を気にしすぎてガムやグミを抑制してしまう。母乳は虫歯は増えるが顎の発達は良い。乳歯の内は虫歯予防は大事だが、先ず顎の発達を考えてください。

診療していると色々な患者さんが来ます。ご本人も含め、周りの人達の体調が悪く、何とか助けてあげたい。何とかできないかといつも思っています。私の中に【知りません・ありません・わかりません】そういう否定形である「No」と言わないと云うのを掲げています。まさしく珪素はそれを手伝ってくれています。

我々は口腔の中だけですが、使い方は1日5~6回以上紙コップ半分位の水に umo を3プッシュ位入れて出来るだけ長い間うがいをし、吐き出すのではなく飲み込むと云うのを大切にしています。

続いて、珪素により症状が緩和・治癒に向かった症例の紹介ですが、アフタ性口内炎や壊死性潰瘍性歯肉炎、後者は歯周病の一種で、実は非常にやっかいです。口腔内環境、そこにストレスが重なり

そこに何かのファクターが入ると起こります。歯肉が陥没すると食事や飲み物も儘ならない状態になります。こうなると抗生剤の点滴しかないが、今は水溶性珪素で治ります。実際治っています。

それと珪素で改善した症例2例をあげます。先ずは40歳女性の方。見える口内炎はレーザーでも対処できますが、咽頭にある見えない場所の口内炎に珪素を使用してもらったところ2日で完治。

もう一つは、56歳男性。空手家で身体もしっかりした方ですが、調子が悪く診察してもらおうと原因不明。とりあえず私の持っている学会の文献や資料と一緒に umo を使ってもらった。しかし使用中は腫瘍マーカーの数値も低く原因不明。umo を止めた後、検査すると腫瘍マーカーの数値が上がり、肺腺ガンと云う事が発覚した。本人は原因が分かって安心していましたが…。しかし、そこから治療が始まります。脚もフラつき、ドアすら開けられない程、弱ってしまった身体。3歳の子供の笑顔を見るたびこのままじゃいけないと、再び珪素を摂り始めた。量は次第に増えたが、今では一人で診察にも来れるし、大好きなハーレーにも乗れる程回復しています。彼は、私に「先生は命の恩人や」と言われたが、私は何もしていない。彼が持っている治そうと云う生命を umo が引き出したんやと思います。

彼は自然治癒を第一に考えた病院を学会でつくって欲しい言っていました。金子会長が大学を検討していると話を聞き鳥肌が立ちました。

先生は、今、経過観察のものも含めデータを取り、これから水溶性珪素 umo の実績を出していきたいと思っているようです。次に何かの講演で、また観察の報告を聞ければ嬉しいですね。

質疑応答

先生達に再び登壇していただき、事前に皆様より頂戴した質問にお答えいただきました。ここには全て書ききれないため、一部抜粋して掲載致します。

細井先生への質問: 再生医療を変革する珪素の力を拝読しました。珪素は人間の本来持つ内的 iPS を活性化すると云う事はよく理解できましたが、栄養素の吸収に対しては水溶性珪素 umo はどのように働きますか?

回答: 人間の身体の主な臓器の主要な成分の基材は珪素。ただその基材がボロボロで不足していれば正しく動かない。

- ・先ず、その基材として珪素が必要。
- ・珪素は効果の薄い薬剤やサプリメントの吸収をしやすくする側面がある。
- ・毒を除去して健康に害の無いものにして体に入れる。
- ・活性酸素は体に毒だが、この毒を除去してくれる。

4つの大きな効能効果があると理解していただければと思う。